

2023.12.25

あきる野市地域公共交通協議会  
会長 小根山 裕之 殿

協議会委員（市民代表）

「市民要望の署名」の補足説明

事務局の報告にありますように、「るのバス増車・コース等、市民要望署名」は、あきる野市公共交通の充実を求める会から約 2000 名の署名が提出されました。「充実を求める会」の会長木寄さん、事務局の華房さん等は、20 年以上前から、市民の足となる、現在の「るのバス」の運行を求め活動してきました。そして現在各種の実証実験を重ね、あきる野市の公共交通をどうするか計画策定の時期を前に、市民の要望をまとめ、今年のすざましい暑さの中、市民との対話と署名活動をしてきたわけです。

私も野辺地区の「チョイソコ」の登録推進のためもあり、地域住民の声を聞きながら署名活動を行いました。そこで出された「チョイソコ」に対する改善要望は、第1回協議会で報告しました。「チョイソコ」の核心的な改善点の一つは、目的地停留場にもっと医療機関の設定というものでした。

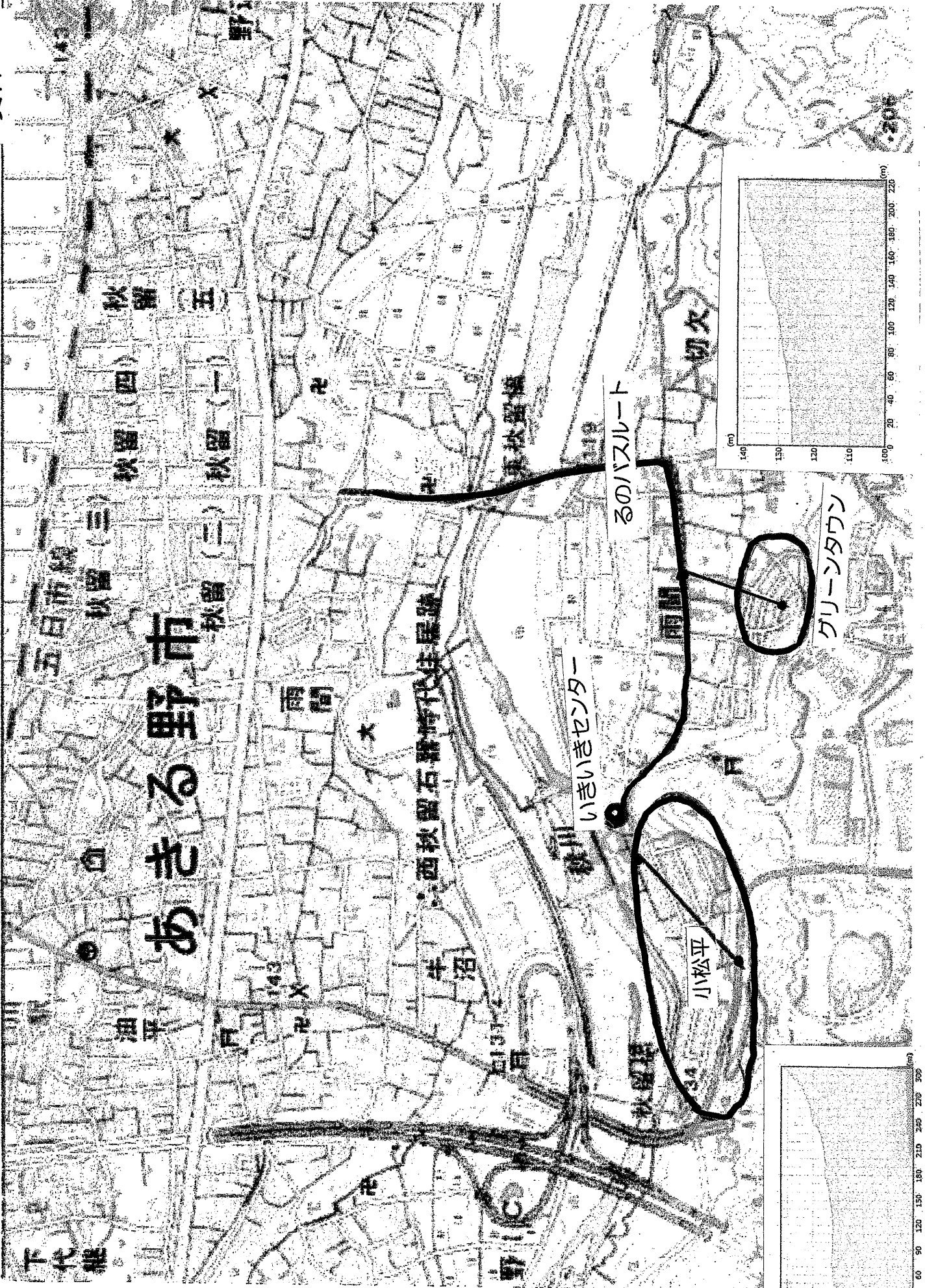
さて公共交通の計画策定にあたり、「市民の要望署名」の要旨を時間の関係もあり、今日は3点について簡単に、補足説明させていただきます。

① まず「標高差」を考えていただきたいことです。地理院地図から、グリーントウン・小松平・パークハイツのそれぞれの標高差は、それぞれ約 15m、20m、30m あります。これは大変なことで、自家用車を手放さざろうを得なくなったときは、居住を続けることを考えなければならない。グリーントウンと小松平の「チョイソコ」の運用、パークハイツは、「るのバス」の周回が本当に必要です。（資料1）

② 「るのバス」の小川コースのコース変更です。別図のように野辺、小川玉見ヶ崎、野辺、二宮神社、秋川駅のコースを、野辺、小川玉見ヶ崎、交差点「小川」、交差点「二宮本宿」、秋川駅へのコースに変更です。

二宮は、昔は秋川の中心地のひとつでした。私の知っているに二宮は、スーパーマルフジもあり、また本宿通りは、商店街もありました。現在公共交通のバスは、福生、拝島間の1日2便のバスだけです。「るのバス」の小川コースは、利用客数は多いのですが、コース変更は、それ以上の利用客が見込まれます。コースの変更は、二宮地区の足の確保とともに、二宮地域の活性化への思いでもあるのです。（資料2）

③ 「るのバス」・「チョウソコ」の土曜・日曜の運行です。気軽に外出でき、そのことによって、市民の健康増進と地域の活性化をはかるべきです。これは前回の協議会で学んだことです。（国土交通省関東運輸局ご講演）  
ぜひ計画策定には、以上3点を考量していただきたい。



# あきる野市

バスルートの

いまいきセンター

小松平

グリーンタウン

切欠

西秋留石露時代住居跡

雨間大

秋留 (五)

秋留 (四)

秋留 (三)

秋留 (二)

秋留 (一)

下代

油平

